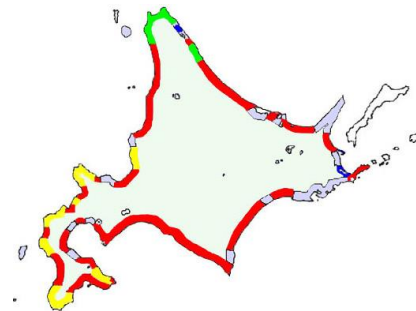


# 海岸防災林の適切な管理で防災機能UP！

十分な機能を発揮する健全な海岸防災林を育成するため、カシワ海岸防災林の密度管理指針を作成しました。

赤：カシワ  
緑：ミズナラ  
黄：イタヤカエデ



北海道の海岸に天然で生育している主要な樹種

## 背景

減風や、飛砂・塩分の捕捉という防災機能を保ちつつ、気象害にも強い健全なカシワ海岸防災林を育成するためには、成長に伴って混み合ってくる林を適切に管理する指針（密度管理指針）が必要です。


1haあたりの本数が上限に近いカシワ海岸防災林（右の写真）

↓

幹が細く、枝張りも小さい

↓

- ・ 気象害に対して脆弱
- ・ 防災機能が果たせなくなるおそれ

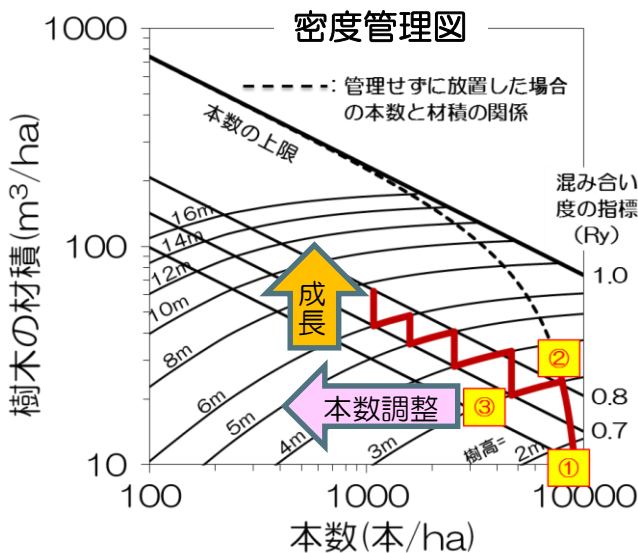


## 成果

カシワ海岸防災林の密度管理指針をつくり、施業体系に反映させました。

1 カシワ海岸防災林の密度管理図をつくることで、林の成長過程の予測が可能となりました

2 カシワ海岸防災林の本数調整のタイミングと伐採する本数が一目で分かる施業体系図としました

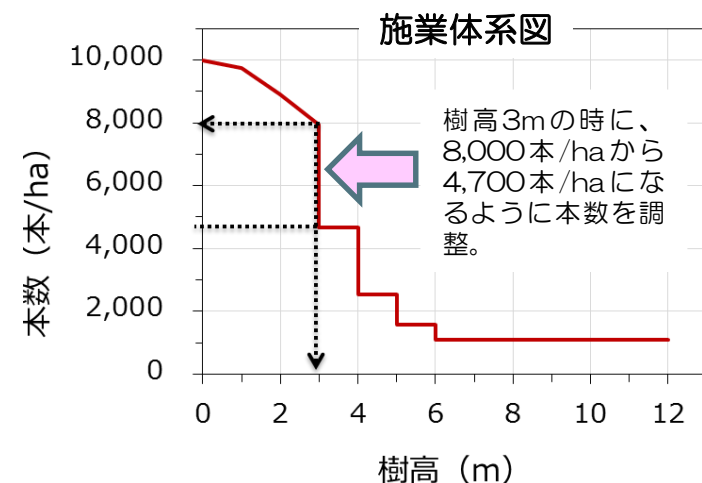


密度管理図により、本数と材積から求められる混み合い度の指標（ $R_y$ ）に基づいた密度管理指針を提示できました。

**【密度管理指針】**

カシワ海岸防災林の疎仕立てでは混み合い度の指標（ $R_y$ ）を0.7～0.8の範囲に調整

- 密度管理の考え方
- ・ 成長に伴って森林が混み合う（① → ②）
- ・ 適切な混み合い度まで本数を減らす（② → ③）



（カシワ海岸防災林を造成する地域によって成長速度に差があるため、樹高を横軸とした施業体系図としました。）

## 期待される効果

気象害に強く、防災機能の高い海岸防災林の管理！

○治山事業の現場で用いられており、防災機能を十分に発揮し、気象害に強いカシワ海岸防災林の育成が期待されます。